

令和7年度 学校評価

評価：4 = とてもよい 3 = まあまあよい 2 = あまりよくない 1 = よくない

番号	評価項目	評価の着眼点	提出用 評価点	評価平均
5	学校教育目標 地域の特色や学校の実態に即した学校教育目標を設定し、児童生徒・保護者・地域の理解を得ている。	・地域の特色や学校の実態を反映した学校教育目標の設定 ・職員の共通理解および児童や保護者・地域への発信	4	3.4
6	特色ある学校づくり 特色ある学校づくり推進事業が児童生徒の教育活動に効果的であるとともに、事業の計画や成果が広く理解されている。	・総合的な学習等における地域講師と児童との交流 ・事業の計画や成果についての保護者・地域への情報発信	4	3.5
7	施設管理 施設・設備の点検・管理を日常的に行い、その機能を十分に生かして教育活動に活用している。	・安全点検を定期的な実施と危険個所の速やかな修繕 ・備品等の日常的な整理整頓や安全管理	4	3.3
8	家庭・地域連携 保護者・地域との連携を図り、開かれた学校づくりを進めている。	・ホームページのこまめな更新と学校だよりの定期的な発行 ・教育活動への地域講師、保護者、外部機関の積極的な活用	4	3.7
9	学習指導 学年の学習目標や学習内容を知らせている。	・学年だよりの学習目標、学習予定、月例テストの分析結果等の連絡	4	3.4
10	学習指導 体験的な活動や問題解決的な学習を取り入れた授業を展開し、児童生徒の学習を充実させている。	・体験的な活動の充実 ・学び合いなど、児童が主体的に学習課題に取り組む工夫	4	3.6
11	学習指導 個別指導、グループ指導やT・T・少人数指導等の工夫を積極的に行い、個を生かす学習指導を充実させている。	・状況に応じた個別指導、ペア活動、グループ活動の実施・T・T	4	3.4
12	学習指導 指導方法や教材の工夫等により基礎基本の定着度を向上させている。	・指導方法や教材の工夫 ・まとめテスト（国・算）の定期的な実施	4	3.5
13	学習指導 子どもの学習状況について、懇談会等での確に説明している。	・具体的な学習状況が分かる資料やデータを用いた分かりやすい説明	4	3.2
14	道徳教育 学校教育活動全体を通じて、体験活動やボランティア活動を取り入れ、心の教育を充実させている。	・先達段階を踏まえた道徳授業の展開 ・自己有用感もてる体験活動や良好な人間関係を築ける縦割り活動、ボランティア活動（募金活動・各種回収）の積極的な実施	4	3.4
15	教育相談 児童生徒との日常のふれあいを大切にするとともに、教育相談を計画的に実施し、児童生徒理解に努めている。	・児童との会話や日記等による児童理解と適切な声かけ ・計画的な教育相談の実施	4	3.5
16	特別活動 学級活動、児童会・生徒会活動、学校行事等を活用し、児童生徒の自発的・自治的な活動の充実に努め、成就感、感動を味わわせている。	・学級活動や委員会活動における一人一人の活躍の場の設定 ・児童に成就感や感動を味わわせていくための支援や評価	4	3.4
17	生徒指導 基本的な生活習慣の定着や規範意識の向上のために、具体的な方策を講じている。	・時間を守る、めいさつを守る、話を静かに聞く等、相手意識をもってマナーを守る指導の継続的な実施 ・道徳授業の充実	4	3.5
18	生徒指導 いじめ、不登校、触法行為などの予防と早期発見、早期対応に努めて、職員の共通理解のもと組織的に対応している。	・「子どもを語る会」や「ケース会議」等の実施 ・問題行動や不適応行動発生時の組織的で迅速な対応	4	3.7
19	健康教育 心身の健康に留意し、主体的に健康づくりや体力づくりができる態度を身につけさせる指導を充実させている。	・体育の時間における適切な準備運動と運動量の確保 ・児童の実態を踏まえた体育的行事の設定および実施	4	3.4
20	学校図書館教育 図書館の整備に努めるとともに、学校図書館司書との連携を図り、豊かな心を育む読書活動を進めている。	・学校図書館司書やボランティアと連携した、学習センター機能も含めた図書館整備や読書指導の実施	4	3.4
21	情報教育 情報活用能力を高めるとともに、デジタル・シティズンシップの向上を図っている。	・学習用タブレットの積極的な活用促進 ・児童の実態把握と情報モラル教育の適切な実施	4	3.3
22	安全教育 自らの安全を守るための正しい知識と行動に関する指導を計画的に行い、意識の高揚を図っている。	・地域の方と連携した通学路点検や交通安全意識の醸成 ・防犯、防災に関する継続的な指導と計画的な避難訓練の実施	4	3.4
23	教育課程 学習指導要領をふまえ、各学校の指導計画に基づいて、適切に実施している。	・学習指導要領についての共通理解 ・年間指導計画、週案簿に基づいた学習指導の実施 ・学習進度の進捗状況を学年でそろえる工夫	4	3.4
24	家庭・地域連携 地域・保護者ボランティア等を継続的に活用し、地域活性化に視点をおいた地域ぐるみの教育活動の展開に努めている。	・地域講師や保護者のボランティアの積極的な活用 ・地域や地域学校共働本部との積極的な連携	4	3.4
25	家庭・地域連携 保護者や地域・近隣の園や学校、関係機関と連携した危機管理マニュアルを作成し、運用するよう努めている。	・危機管理マニュアルの作成 ・教職員、PTA、地域の連携による安全確保体制の確立	4	3.4
26	学校経営 教育活動推進のために、教職員の共通理解が図られ、学校が組織として機能している。	・週報、日報、諸会議、打合せによる教職員の協力体制の確立 ・こまめな報告、連絡、相談の徹底	4	3.6
27	学校評価 学校評価の結果を教育活動の改善・充実に活用している。	・学校評価委員会全体会による評価項目の共通理解 ・学校自己評価、保護者アンケート、学校関係者評価の分析	4	3.4
28	園・小・中連携 こども園と小学校、小学校と中学校、のように近隣の園小中との指導の連携に努めている。	・こども園、幼稚園、中学校との情報交換の実施とそれを活かした効果的な支援の展開	4	3.3
29	特別支援教育 特別な支援を要する児童生徒の状況を把握し、保護者・関係機関との連携を踏まえた個別の支援計画を立て、全校体制で支援している。	・記録の累積および子どもを語る会等での職員間の共通理解 ・保護者と連携した個別の指導計画の作成	4	3.5
30	健康教育 健康な身体づくりに必要な食生活の充実に関する指導を、計画的に行っている。	・日常的な給食指導も含めた食育の実施 ・アレルギー等の配慮が必要な児童の実態把握と組織的な対応	4	3.5
31	国際理解教育 学習や行事等を通して共生の心を育てるとともに、小学校においては、小学校外国語教育を充実させている。	・ALTやボランティア講師を活用した外国語科・外国語活動の実施と共生意識の醸成	4	3.4
32	環境教育 主体的に環境保全に取り組む態度の育成に努めている。	・ビオトープや地域を効果的に活用した環境教育の実施 ・農業体験や地域探検を通じた寿恵野学区を愛する心の醸成	4	3.7
33	キャリア教育 望ましい勤労観、職業観がもてるよう、各学年に応じた系統的な指導を行っている。	・地域講師や校外見学などを生かした体験学習の実施と発達段階	4	3.5
34	教員育成 学校全体で、テーマを明確にし、組織的・計画的・継続的に現職教育研修が進められている。	・研究テーマを踏まえた、学年体制を基盤とした研究実践	4	3.6

35	教員育成	非違行為撲滅のため、計画的、継続的に職員が意識できるような取組が行われている。	・不祥事防止のための取組の学習会や面接の実施	4	3.5
36	教員育成	新たな学びのスタイルの推進のため、学校全体でICT活用指導力の向上に努めている。	・学習用タブレットを含めたICT機器の積極的な活用の推進およびそのための情報共有	4	3.4
37	多忙化解消	学校全体で、多忙化解消に向けた取組を推進している。	・業務改善に向けた組織的な取組	4	3.3
38	健全育成（中学校のみ回答）	子どもの心身の健全育成及びスポーツ障害の予防につながる部活動を推進している。（中学校のみ回答）			
39	独自項目		・「すえの賞」による善行表彰の実施・教職員間における児童の	4	3.7